



ほうれんそう

主な掲載内容(令和7年2月定例会)

定例会の概要	2	討論・賛否の状況・意見書・請願	6	令和7年1月臨時会	16
令和7年度当初予算の概要	3	代表質問	7	表紙写真	16
令和7年度の主な新規事業	4	一般質問	10	次期定例会日程(予定)のお知らせ	16
委員会審査	5	傍聴・議会中継の御案内	15		

定例会の概要

令和7年2月定例会は、2月20日から3月14日までの23日間の日程で行われました。本会議初日に、市長から、条例の制定案3件、廃止案1件、改正案19件、補正予算案12件及び当初予算案21件など、計64件の議案が提出され、主な提出議案等の説明が行われました。また、本会議最終日には、市長から、人事案1件及び諮問5件が追加提出されたほか、議員から、議案案1件及び意見書案4件が提出されました。このほか、今期定例会には、市民から請願1件が提出されました。これらの議案等については慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決・同意、請願については採択されました。

条例制定

◆いわき市ひとり親家庭等応援金支給条例の制定

ひとり親家庭等で児童を監護している者に対し、児童が中学校を卒業する際にひとり親家庭等応援金を支給することにより、その経済的負担の軽減を図り、もって児童の新生活を応援するため、本条例を制定するものです。

【主な制定内容】

- 1 支給要件
 - 児童扶養手当の認定を受けた者であって、次の要件を具備するものに対し、応援金を支給する。
 - (1) 15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者を同月1日（以下「基準日」という。）に監護していること。

- (2) 基準日において本市に引き続き1年以上住所を有していること。
- (3) 基準日の属する支払期月に児童扶養手当の全部又は一部の支給を受けていること。

2 応援金の額

応援金の額は、児童1人につき10万円とする。

【施行日】令和7年4月1日

- 3 廃止する条例
 - いわき市父子、母子等奨学資金支給条例

- ・ いわき市父子、母子福祉手当支給条例
- ・ いわき市父子、母子家庭等入学児童祝金条例

【施行日】令和8年4月1日

◆いわき市医学生応援修学資金貸与条例の制定

大学の医学を履修する課程に在学する者であって、将来市内の病院に医師として勤務

しようとするものに対し、修学に必要な資金を貸与することにより、本市の医師の確保を図るため、本条例を制定するものです。

【主な制定内容】

- 1 修学資金の貸与契約
 - 大学の医学を履修する課程に在学する者であって、将来市内の病院に医師として勤務しようとするものの申請により、修学資金を貸与する旨の契約を結ぶことができる。
- 2 修学資金の額
 - 修学資金の額は、月額23万5000円とする。
- 3 返還債務の当然免除
 - 市内の病院の医師として通算して在職した期間が、修学資金の貸与を受けた期間に達したとき等は、修学資金の返還を免除する。
- 4 返還

次のいずれかに該当するときは、貸与を受けた修学資金の総額に利息を付した額を一括して返還しなければならない。

- (1) 退学等により契約が解除されたとき。
- (2) 医師となった後、最初に臨床研修等に従事した日から20年以内に、市内の病院の医師として在職した期間が、修学資金の貸与を受けた期間に達しなかったとき。
- (3) 大学を卒業した後、2年以内に医師とならなかったとき。

【施行日】令和7年4月1日



人事案に同意

○田人財産区管理委員

緑川英泰氏

○人権擁護委員

金田康裕氏
反町真由美氏
鈴木栄子氏
佐竹浩久氏
平山明子氏

令和7年度いわき市一般会計当初予算案など76議案等を可決・同意・採択

1 予算規模

① 一般会計 1,508億3,788万3千円 (対前年度: +62億260万1千円、+4.3%)

- ◆制度改正により支給対象年齢が引上げとなったことに伴う児童手当の増や、公定価格の改定に伴う保育所等の運営費に対する給付費の増のほか人事委員会勧告に基づく給与改定に伴う人件費の増
- ◆いわき駅並木通り地区市街地再開発事業の整備終了や、国補正予算に伴う事業の前倒し等に伴う事業費の減

② 特別会計 1,080億6,792万6千円 (対前年度: +53億939万9千円、+5.2%)

	会計名	予算額	対前年度	主な増減理由
主な会計	介護保険特別会計	333億9,744万9千円	+8億4,785万円 +2.6%	居宅介護サービス給付費の増等に伴う保険給付費の増
	土地区画整理事業特別会計	20億1,904万円	+2億1,988万1千円 +12.2%	湯本駅周辺土地区画整理事業の本格化に伴う増
	競輪事業特別会計	378億8,714万4千円	+38億2,260万2千円 +11.2%	ミッドナイト競輪開催日数の増

③ 企業会計 674億7,628万4千円 (対前年度: +9億8,710万1千円、+1.5%)

	会計名	予算額	対前年度	主な増減理由
主な会計	水道事業会計	173億9,619万円	△15億614万3千円 △8.0%	老朽管更新事業を前倒したことによる減
	病院事業会計	321億3,029万4千円	+33億6,213万6千円 +11.7%	病院内のネットワーク機器更新に伴う増
	下水道事業会計	169億3,248万3千円	△8億6,233万8千円 △4.8%	東部浄化センターの廃止(R5年)に伴う管理費用の減

合計 3,263億8,209万3千円 (対前年度: +124億9,910万1千円、+4.0%)

2 一般会計の主な内訳

1 骨太の方針関連予算 202億9,658万7千円 (対前年度: +5億907万6千円、+2.6%)

- 1 人づくり投資予算2025 97事業・22億6,682万2千円
- 2 新たなステージに向けた5つの重点パッケージ
- | | |
|------------------------|-------------------|
| ① 医療・救急強化パッケージ | 12事業・15億420万7千円 |
| ② 若者・女性等への雇用・産業強化パッケージ | 39事業・10億8,689万2千円 |
| ③ 防災・自治体強化パッケージ | 23事業・14億4,408万7千円 |
| ④ 教育・子育て充実パッケージ | 47事業・34億6,829万8千円 |
| ⑤ まちの魅力創出パッケージ | 42事業・11億710万7千円 |

2 経済対策関連予算 17億2,182万7千円 (対前年度: 皆増)

- | | |
|-------------|------------------|
| ① 定額減税不足額給付 | 1事業・9億3,764万6千円 |
| ② 物価高騰対策等 | 13事業・7億8,418万1千円 |

令和7年度 当初予算 (新たなステージに向けた5つの重点パッケージの主な新規事業)

1 医療・救急強化パッケージ

15億 420万 7千円

新 救急患者受入強化支援事業

6,967万 2千円

救急患者を受け入れる病院の運営体制強化を支援

市内の救急告示病院の救急患者受入体制を強化し、救急医療体制の確立を図る
 ※ 市内4つの救急告示病院に、運営体制強化の経費の一部を補助

R4に比べて
3分43秒短縮

≪病院収容所要時間≫

いわき市

51分 38秒
(R6)

全国平均

45分 36秒
(R5)

受入体制を強化

病院収容所要時間
短縮を目指す



2 若者・女性等への雇用・産業強化パッケージ

10億 8,689万 2千円

新 国連と連携したグローバル人材育成事業

1,317万 2千円

地域リーダー育成 ～全国に先駆けた国際都市を目指す～

01

本協定を
締結
R6.12.2

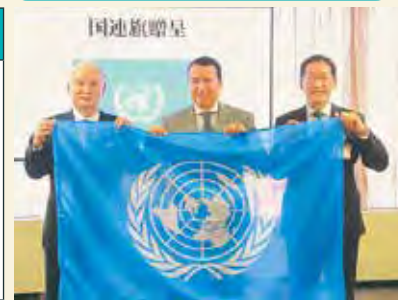
02

国連の人材育成機関の拠点
CIFAL ジャパン国際研修センター
を東日本国際大学と連携して開設

国内初

03

- ◆ 国連基準の質の高い教育プログラムを構築し市内で展開
- ◆ 地域で活躍するリーダー人材・グローバルな人材を育成



3 防災・自治体強化パッケージ

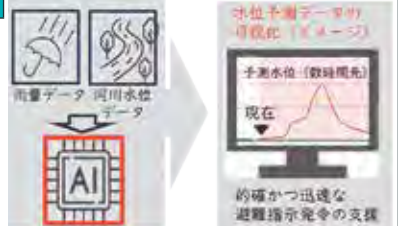
14億 4,408万 7千円

新 AI水位予測システム事業

4,822万 6千円

～AIによる水位予測で安心を、逃げ遅れゼロの街へ～

- ◆ 河川洪水に係る情報の迅速な収集・分析による的確かつ迅速な避難指示発令支援を目的として、河川水位AI予測システム等を構築
- ◆ 県内の防災情報を発信している「福島県防災ポータル」と「市雨量情報システム」を連携して雨量情報の閲覧を可能にする



4 教育・子育て充実パッケージ

34億 6,829万 8千円

新 学校給食費中学生無償化事業

4億 2,154万 5千円

中学校給食費の完全無償化

市立小・中学校に在籍する児童・生徒のうち、学校外活動を含めた子どもの学習等に係る負担が比較的大きい中学生の学校給食費を全額公費負担

令和6年度

第3子以降
に係る学校
給食費を全
額公費負担

令和7年4月から
+ 中学校
給食費が無償に

- 上記のほか
- ◆ 第3子以降に係る小学校給食費の公費負担分：7,263万 8千円
 - ◆ 食材料費の高騰にかかる公費負担分：2億 8,582万 4千円



5 まちの魅力創出パッケージ

11億 710万 7千円

新 観光力強化3Cプロジェクト ～Trip to Iwaki～

2億 4,038万 1千円

- ◆ ふくしまDC(destinations キャンペーン)と連携したイベントの開催
～特別演出!! 新緑のアミダナイト～ [929万 1千円]
- ◆ NCR(ナショナルサイクルルート)指定に向けたサイクルツーリズムの推進
～勿来をスタート地点に「いわき七浜海道」走行イベントを開催～ [2億 2,508万 7千円]
- ◆ いわきFC と連携した本市の魅力発信
～宿泊割引プラン造成、いわきFC戦観光PRブース出展～ [600万 3千円]



◆ 各事業の詳細は、市公式ホームページ上で確認してください。

令和7年度 予算

検索

委員会 審査

本会議7日目の3月4日に、計64議案及び請願1件の付託を受けた4常任委員会は、3月5日から3月7日及び3月10日に委員会を開催し、議案及び請願の審査を行いました。

その結果、議案はいずれも原案のとおり可決、請願については採択すべきものとの結論に達しました。

審査の過程では、様々な質疑応答等がありましたので、その一部を掲載します。 

政策 総務

常任委員各

◆ いわき市消防団員の任免、服務及び給与に関する条例及びいわき市消防団の設置等に関する条例の改正

Q 機能別団員の定員を100人とした根拠は。

A 機能別団員の定員については、市内の大学等、5校において、それぞれ20名程度の加入が見込まれることや、他自治体における活動状況を参考に100人としたところです。

◆ 令和7年度いわき市一般会計予算

Q C I F A L ジャパン国際研修センターへの負担金の内訳は。

A 国連ユニタールからサポートを受けるための拠出金のほか、評議会運営やセンターの運営に係る事務費等を積算した結果、年間2,560万円程度となり、市と、共同事務局である東日本国際大学が折半することとし、令和7年度は1,280万円を計上したところです。

市民 生活

常任委員各

◆ 令和7年度いわき市一般会計予算

Q 電気自動車の普及に向けた市の戦略は。

A 令和6年度から、民間企業と連携して、公共施設にEV充電設備の設置を進めており、今後も計画的な普及拡大に努めます。

◆ 指定管理者の指定

Q いわき震災伝承みらい館の管理について、指定管理者制度を導入する理由は。

A 資料の収集や整理等の専門性の高い業務について、民間事業者のノウハウを生かすことで、サービス水準の向上を図ることができるものと判断したためです。



▲いわき震災伝承みらい館

教育 福祉

常任委員各

◆ 令和7年度いわき市一般会計予算

Q 未来につなぐ人財応援奨学金返還支援事業に関わって、奨学金返還に係る補助金の交付対象者を決定する際の審査方法は。

A 応募者から提出された応募理由書や政策提案書を、認定委員が、5段階の評価基準で採点し、それを平均点数で順位づけした上で認定しています。

Q 重層的支援体制整備事業に関わって、地区保健福祉センター職員によるアウトリーチ機能の強化に向けた仕組みづくりは。

A 今年度、各地区保健福祉センターにおけるケースワーカーの業務量調査を実施しました。今後、その中で、業務量の削減やデジタル化により、各ケースワーカーの負担を軽減し、アウトリーチの時間を確保していきたいと考えています。

産業 建設

常任委員各

◆ 令和7年度いわき市一般会計予算

Q 福大食農学類とともに歩むプロジェクト事業費に関わって今年度までの研究成果に対する評価は。

A 調査研究事業である本事業を通じ、営農者がいわきの農業について考える良い契機であったと考えます。今後は、実践に展開できるよう努めていきます。

Q 市街地再生整備推進事業費のうち、いわき湯本温泉景観形成支援業務の具体的な手法は。

A 広報紙で情報発信することにより、地域住民の景観に関する意識の醸成を図るほか、各地区ごとにヒアリングを実施します。また、地区の持つ特性を探りながら、景観形成の指標となる計画の策定につなげていきたいと考えています。

討論

本会議最終日の3月14日には、市長から提出された議案に対し、反対及び賛成の立場から討論を行いましたので、その主なものを掲載します。
本議案は、賛成多数により可決しました。

討論とは？

表決に先立ち行う、議案等に対する賛成か反対かの自己の意見の表明

いわき市ひとり親家庭等応援金支給条例の制定について

反対

ひとり親家庭等で児童を監護している者に対し、中学校を卒業する際に、児童1人につき10万円を支給する条例の制定であるが、一方で、「父子、母子等奨学資金」「父子、母子福祉手当」「父子、母子家庭等入学児童祝金」の3つの条例を廃止することとなっており、合計すると7万6千円の減額となるため、国の児童手当の拡充策が生きるよう、廃止を提案している3つの条例を存続させ、ひとり親世帯への支援強化策とすべきと考えるため、反対である。

賛成

「父子、母子等奨学資金」「父子、母子福祉手当」「父子、母子家庭等入学児童祝金」の3手当は、事業開始から約半世紀が経過しているが、支給対象者や支給時期も手当毎に異なっており、市民生活の実態に見合わなくなっている。このため、制度全般の見直しを行い、申請不要のプッシュ型の応援金を創設することで、保護者の負担軽減につながり、3月に支給されることで、高校入学等の準備の費用に充てることが可能となるため、賛成である。

反対

応援金の趣旨には賛同するが、子育て支援を厚くするためにも3条例を廃止・統合して応援金を創設するのではなく、児童手当をはじめ、国の施策をよりよく生かすために、必要に応じた改善を図ることを前提に、本市の独自施策を生かしていくことが求められていると考える。国の施策に上乘せしながら、今回の応援金のように必要な時に必要な支援をさらに上乘せしていくことが必要と考えるため、反対である。

議案に対する賛否の状況

本会議最終日の3月14日には、今期定例会に提案された議案等に対する採決を行いました。採決にあたり、賛否の分かれた5議案について、会派ごとの賛否の状況を掲載します。

※ 下表中の（ ）は、会派の所属議員数です（議長は採決に加わりません）。

議案名	議決結果	政風会 (13人)		創世会 (6人)		真政会 (6人)		公明党 (4人)		共産党市議団 (3人)		正論 (1人)		市民の会 (1人)		誠心誠意の会 (1人)		拓く会 (1人)		日本維新の会 (1人)	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
いわき市ひとり親家庭等応援金支給条例の制定について	原案可決	12		6		6		4		3		1		1		1		1		1	
いわき市出産支援金支給条例の廃止について	原案可決	12		6		6		4		3		1		1		1		1		1	
いわき市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正について	原案可決	12				6		6		4		3		1		1		1		1	
令和7年度いわき市一般会計予算	原案可決	12				6		6		4		3		1		1		1		1	
令和7年度いわき市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	12				6		6		4		3		1		1		1		1	

意見書

市議会では、市だけでは対応することが困難な問題の解決を求めため、国会または関係行政庁に対し、意見書を提出しています。今期定例会では、次の4件を可決しました。

- 下水道などのインフラ設備への国の公的支援を求める意見書
- 学校における教職員の欠員解消を求める意見書
- 人口減少の克服と地方創生の推進を求める意見書
- 自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書



詳細はこちらから ↑

請願

今期定例会では、市民から次の請願が提出され、採択となりました。

- 高齢者の聴覚補助機器(補聴器)購入時の公的助成を求めることに関する請願書

【請願事項】

耳が聞こえづらいために社会的に孤立し、認知症になる危険性を防ぐために、高齢難聴者への補助機器（補聴器等）は有効な一つ的手段とされています。問題は、高額なためになかなか買えないという実態があります。高齢者は、社会のために様々な貢献を行ってまいりました。高齢者に少しでも実りある生活を送ってもらうために、いわき市が手を差し伸べる必要があると考えます。そのため、公的負担制度をいわき市でも実現していただきたく、請願します。

各会派の代表者5名が

新年度の施政方針等について質問！

ズバリ聞きたい

代表質問



2月25日及び26日には、代表質問を行いました。代表質問は、所属議員3人以上の会派が、当初予算を審議する議会に限り、行うことができます。

今回は、各会派を代表して5名の議員が行いましたので、その主なものを掲載します。

なお、この文章は、質問議員自らが作成しています。

■QRコードを読み込むと、質問議員の録画映像にリンクします。

政風会



西山 一美



市政運営の方針は

問 令和7年度の方針は。

答 本年は、市制施行60周年の節目を迎える前年にあたり、80年目、100年目の本市の将来を見据え、これま

での常識や経験の延長上に本市の未来の展望を描くのではなく、想像力と構想力をもって、明るい未来をつくってきたいとの強い想いを抱いています。そのため、予測困難な未来を生き抜く若者たちと、これまで以上に対話を重ね、いわきらしい、ウェルビーイングなまちづくりを目指し、様々な分野の第一人者をアドバイザーに迎え、若者たちが輝く未来へ戦略的に投資していきます。

医療、産業、防災、教育、子育て、公共交通など、多岐に渡る分野で待ったなしの対応が求められています。政策の柱に、次世代を育てる、命・暮らしを守る、まちの魅力を高める、豊かさを創るの4つを掲げ、各分野における様々な取組に挑戦します。また、これらの政策を支える構造改革に併せて取り組み、改革の動きをさらに前進させていきます。今後も、現場主義に徹

しながら、各分野で挑戦する皆様の生の声をしっかりと受け止め、市民目線を大切に、市民の皆様へ寄り添いながら、住んで良かった、住み続けたいと実感できる、幸福感の高いウェルビーイングなまちづくりを目指していきます。

豊かさを創る	まちの魅力を高める	命・暮らしを守る	次世代を育てる

▲「いわき版骨太の方針」の4つの政策の柱

市長就任から

これまでの市政の総括を

問 今後の展望について、市長の決意は。

答 これまで進めてきた個々の政策は、前進や改革は一定程度進化していますが、まだまだ途上です。さらなる市政発展のために、引き続き、2期目に向け、9月のいわき市長選挙に挑戦したいと考えています。また、防災庁の地方への移転に関しては、いわき

市としても、手を挙げて誘致活動に向けて進めていきたいと考えています。東日本大震災以降、度重なる災害で全国から受けた御支援を、いわき市という一地方都市から全国に恩返しをしていきたいと考えています。そして、2期目に向けては、防災庁の本市への誘致に尽力するとともに、今議会に中学生の給食費無償化の予算案を出していますが、次の段階として、小学校も含めた給食費の完全無償化を進めていきたいと考えています。さらには、今後10年間で医師100人を確保する計画などを進めていきたいと考えています。

創世会



福嶋あづさ



令和7年度の当初予算の特色は

問 市長が特に留意した点は。当初予算はウェルビーイングなまちづくりを実現すべく、新たなステージに向けた予算として編成しました。医

療、産業、防災、教育、子育てなど、多岐に渡る分野で活躍する人材を育成し、人づくりに日本一を実現していきます。

創世会の予算要望について

令和7年度当初予算への反映を

問 どのように反映したのか。
答 物価高騰に対する支援については、燃料費等の高騰分への支援、災害に強いまちづくりの構築については、河川改良や堆積土砂撤去などの流域治水対策の推進など、地域課題の解決や各種支援の充実を図るための予算を編成できたものと考えています。

いごもたちのために

問 特別支援学校の通学の現状は。

答 市内全域から北部地区の学校まで、通学バスの利用や保護者の送迎により、長時間の通学を余儀なくされている児童生徒がいることを承知しています。

問 特別支援学校を南部地区に設置することについて、県と連携して進めるべきでは。

答 設置は、県の所管ですが、特別支援学校の増設により、

少しでも児童生徒や保護者の負担が軽減されることを期待しています。引き続き、県と連携を密にしていきたいと思います。

問 主体的・対話的で深い学びの推進は。

答 従来の知識伝達型の授業からの脱却が重要であり、教員研修の充実を進めています。加えて、児童生徒にも、主体的・対話的で深い学びを意識づけるため、分かりやすく学習のポイントを示したポスターを教室に掲示しています。

問 第三次子どもみらいプランにおいて、こどもの権利への理解促進をどのように取り組むのか。

答 令和7年度は、クイズ形式の「こどもの権利ドリル」を作成し、市内全小学生に配布し、認知度を高めるとともに、学ぶ機会を創出する出前講座を開講し、大人も含め、こどもの権利の重要性を地域社会全体で共有できるように理解促進を進めます。



▲第三次いわき市子どもみらいプラン

困難な問題を抱える女性への支援は

問 DV被害者支援を含めた今後の支援の充実は。

答 令和7年度から、こども家庭課内に配偶者暴力相談支援センターを設置します。

真政会



鈴木 演

令和7年度当初予算案の編成に向けて

問 稼ぐ自治体を目指すための具体的な取組は。

答 未利用財産の処分や集客力の高い公共施設等を対象としたネーミングライツを導入し、ふるさと納税等にも力を入れるとともに、各種基金も積極的に活用しています。

令和7年度の市政運営は

問 やりがいのある職場づくりに向けた取組は。

答 頑張った職員が適切に評価され報われる職場の実現に向け、人事評価制度の活用を

進めます。また、職務や業績に応じた報酬設定等の給与制度の見直しを進めます。さらに、ワーク・ライフ・バランス等の実現に取り組みます。

持続可能なまちづくりを

問 中山間地域振興政策の年度の取組は。

答 常勤の集落支援員を配置し、地域おこし協力隊等との連携を強化すること等により、集落の多様な課題への対応や、きめ細やかな暮らしの支援をします。さらに、移住・定住人口の促進に向け、子育て・若者世帯の相談体制の強化に努めます。

魅力あふれるまちづくりを

問 市といわきFCとの関係をどのように考えているか。

答 市としては、いわきFCを地域に新たな価値をもたらすまちづくりの担い手であると捉え、地域創生に関する協定に基づき、連携・協力しながら、様々な取組を進めています。今後も信頼関係を一層強固なものとし、まちの魅力向上とブランド力の強化につ

なげるよう、本市の未来を創るまちづくりのパートナーとして共に歩んでいく考えです。

問 観光交流人口拡大へ向けたいわきFCとの関わりは。

答 ホーム戦は、観光入込客数や消費額増加の好機であるため、観光PRブースの設置、宿泊割引プランの造成、観光情報等の発信による周遊の促進に取り組んでいます。また、いわきFCの公式SNSとも連携し、当該宿泊プラン等の情報を発信しています。

答 アム整備計画への支援は。いわきスポーツクラブは、民営民営を前提に、今年6月末までのJリーグへの提出に向け、整備計画の策定を進めています。市は、検討の進捗状況を、随時、クラブから報告を受けながら、必要な協議・調整を進めています。

公明党



塩田美枝子

物価高騰経済対策と公明党の令和7年度予算要望への対応は

問 公明党の緊急要望を本市はどのように反映したのか。

答 低所得世帯への支援として、国の給付金に6000円を上乗せします。また、中小企業や公共交通事業者に対する支援、保育所・幼稚園に対し副食材料費の高騰分を支援、農林業等の事業者に対し燃料費等の高騰分を支援します。

問 公明党の令和7年度予算要望の反映は。

答 4つの政策の柱として、「復興第一 期創造的な発展へ」については、食品ロスの削減



▲いわきFC戦での観光PRブース

問 いわきFCによるスタジ

に向け、フードシェアリングサービスの活用等の支援を行います。「人のためのデジタル社会の構築」については、郵送DXや自治会DX等に取り組みます。「人が輝き地域をつなぐまちづくり」については、中学校を卒業する生徒の新生活を支援する、本市独自の新たな応援金を創設します。「命と暮らしを守る防災減災のまちづくり」については、大学生等の力を活用した消防団員制度を創設します。

災害時の避難所の環境改善を

問 学校体育館への空調整備は。

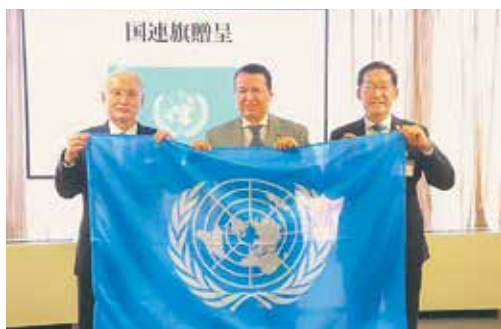
答 エアコン設置には、設置や維持管理に多額の費用がかかり、工期が長期休業中に限られるなどの課題があることから、避難者の安全確保を図る観点から、エアコンを設置している特別教室の一次的な活用なども視野に入れ、検討していきます。

国連ユニタールCIFAALジャパン国際研修センターにおける本市の取組は

問 CIFAALのグローバルネットワークとの連携と人材

育成プログラムの方向性は。

答 研修センターは、日本初、世界で35番目のCIFAALとして本市に開設され、世界各国のCIFAALとのグローバルネットワークを活用した研修プログラム等が期待されています。また、人材育成プログラムの基本的な方向性は、関係者と協議を進めておりますが、日本の先進課題である高齢社会や東日本大震災からの復興や防災等をテーマとした研修、子供や若者を対象とした研修を検討しています。



▲国連ユニタール・いわき市・学校法人昌平翼で協力協定を締結

福島国際研究教育機構 F・REIとの連携は

問 F・REIと市内企業との連携に向け、今後どのような

に進めていくのか。

答 本年度制作を進めている市内企業の保有技術等を紹介するウェブサイトを活用し、F・REIと市内企業とのさらなる連携強化を図ります。

共産党市議団



学校給食費無償化などの教育の問題は

問 中学生の給食費無償化で、どんな成果が期待されるか。

答 生徒1人当たり年額5万7120円が無償となり、中学生を持つ家庭の負担軽減につながります。

問 通常授業で使う特別教室の中で、エアコンの無い教室はいくつあるか。

答 令和6年度末時点で345教室となる見込みで、令和7年度末では216教室となる見込みです。

問 猛暑の中でエアコンの無い教室での授業は、健康への危険を伴うとともに、人権問題にも成りかねない問題では、エアコン未設置の特別教

室での授業を、エアコンが設置してある教室で実施するなどの対応も行います。

少子化対策と深く関わる結婚への支援を

問 人口減少の問題として、市内の婚姻数の推移とその変化をどう捉えているか。

答 婚姻数は令和元年が、1356件、2年が1227件、3年が1164件、4年が1114件、5年が1042件となっており、年々、減少傾向にあります。今後、婚姻数の減少により少子化が加速することになれば、社会経済活動に大きな影響を及ぼすものと認識しています。

下水管などの地下埋設物に関わる災害問題は

問 八潮市の道路陥没事故を受けて、下水道の点検などの確認作業の取組は。

答 市独自の対応として、口径2m以上の全ての污水管約9kmについて、地表面の亀裂等の有無を目視点検した結果、異常は確認されませんでした。

物価高騰から暮らしを守るべき

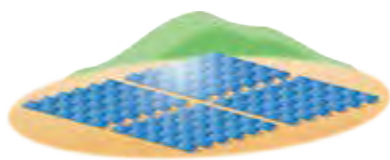
問 コメを買うにも困窮する世帯などへの支援策を作るべきでは。

答 国や県では、非課税世帯に、給付金を支給し、課税世帯には、給付金・定額減税一体措置において、物価高に対応し、可処分所得を増やすための対応をしています。

林地開発に係るメガソーラーへの規制は

問 福島市のメガソーラー規制条例案について、市としてどう捉えているか。

答 福島市の条例案は、再エネ発電事業の禁止区域を設け、その他の地域でも許可制を採用することとしています。本市としては、財産権の侵害や営業の自由などの権利の保障にも留意する必要がありますと認識しています。



16名の議員が4日間にわたって論戦を展開

そこが知りたい

一般質問



一般質問は、2月27日から3月4日までのうち4日間にわたって行われ、16名の議員が質問を行いました。その中から主なものを掲載します。

なお、この文章は質問議員自らが作成しており、行数は発言時間に比例します。

■QRコードを読み込むと、質問議員の録画映像にリンクします。



子育て支援に向けた取組は

問 今後の子育て支援策は。令和7年3月に策定予定の市子ども計画においては、子供・若者、子育て支援施策として4つの基本目標を掲げ、令和7年度からの事業展開を図っていきます。

基本目標のIは、「こども・若者が権利の主体として生きられるために」とし、子供・

若者の権利が尊重される社会を推進します。具体策としては、こどもまんなか！こどもの権利を広げるプロジェクトを実施します。

基本目標のIIは、「安心してこどもを産み育てるために」とし、安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備や就労と子育ての両立を支援します。具体策としては、妊婦にやさしい遠方出産支援事業やこども誰でも通園制度スタートアップ事業を実施します。

基本目標のIIIは、「こども・若者が健康で自分らしく成長するために」とし、子供・若者が健康に育つための支援や確かな人間力を育む教育の推進等を図ります。具体策としては、身体の異常の早期発見等を目的とした1か月児健康診査の実施や、中学生の教育費負担の軽減を図るため、中学生の学校給食費を無償化します。

基本目標のIVは、「支援を必

要とするこども・若者とその家庭のために」とし、困難に直面する子供・若者や独り親家庭等の支援を行います。具体策としては、DV被害者緊急一時避難支援事業を拡充するほか、ひとり親家庭等応援金事業を創設します。今後、本計画に基づき、子供・若者が健やかに成長し、将来にわたって幸せに生活できる「こどもまんなか社会」の実現に向け取り組めます。

循環型社会の実現に向けた取組は

問 新規事業の循環型ライフスタイル支援事業の概要は。

答 ごみを焼却処分するのではなく、資源として循環させるライフスタイルを推進します。具体的には、①食品ロスの削減、②3Rの促進、③新たなライフスタイルへの対応に取り組めます。



自治会のデジタル化に向けた活動支援を

問 デジタル技術を活用した支援の取組の内容は。

答 自治会事務の負担軽減を図るために、自治会活動のデジタル化を推進しています。本年度は、7自治会を対象に、スマートフォンで利用できるアプリケーション「結ネット」を用いて、電子回覧や自治会内の情報発信などの実証試験に取り組んでいます。

小名浜地区の賑わいの創出を

問 いわき・ら・ら・ミューが道の駅としてオープンすることを契機として、どのように観光振興に活用するのか。

答 道の駅登録は、観光交流人口の拡大等に向け、大きな追い風となるものと期待しています。小名浜道路の整備やナショナルサイクルルート指定に向けた取組が進められており、情報・交流の拠点・ハブとしての当施設の役割が、さらに高まるため、道の駅登録を契機に観光振興に積極的

本市の自転車文化の醸成を

問 ナショナルサイクルルートの指定は、本市にどのような効果をもたらすのか。

答 ふくしま浜通りサイクルルートがナショナルサイクルルートに指定されることにより、国や日本政府観光局が、日本を代表するサイクリングルートとして、国内外にプロモーションを行うこととなるため、他のナショナルサイクルルートと同様にインバウンドを含めた観光交流人口の拡大が見込まれます。

「ナショナルサイクルルート」

日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るため、ソフト・ハード両面から一定の水準を満たすルートを国が指定することで、日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートとして国内外にPRを行い、サイクルツーリズムを強力に推進していくもの。

問 いわき平競輪場で令和6年度に行われた事業は。
答 ゴールデンウィーク期間

中には、特別競輪「日本選手権競輪」を開催しました。様々な工夫を凝らし、目標を大きく上回る約152億円の売上を達成するなど、大成功の内に終了しました。また、令和8年度の特別競輪「競輪グランプリ2026」の開催場所として、いわき平競輪場が選考されました。



▲いわき平競輪場で開催された第78回日本選手権競輪

■その他の質問

○小名浜港における釣り文化振興モデル港としての取組は



真政会
馬上一卓也

新しい学びに向けた取組は

問 学習支援ソフト「ミライシード」で期待される効果は。
答 現在、児童生徒は、個々

の理解度に応じて出題されるドリル学習に取り組んでいきます。また、来年度は教科書の単元ごとに確認テストを提供できる機能が盛り込まれる予定です。このドリル機能を活用することで、教員が児童生徒一人ひとりの学習状況を踏まえ、個々への声掛けにより、見えない努力を評価すること

で、学習意欲の向上につながることを期待されます。また、教員にとっても大きなやりがいのとなり、自己効力感を高める効果や、紙教材の準備等が不要となり、教員の業務負担軽減が期待されます。

市民が満足する医療に向けた取組は

問 総合診療重点プログラム設置の目的と今後の展開は。

答 高齢者等が抱える複合的疾患に対応する医師へのニーズが高まっており、地域全体で、あらゆる症状や疾患に対し幅広く診療する総合診療医を育成することが重要であり、将来的に、本市に定着させていくことが必要と考えます。

問 クリニカルパスのメリットと経過観察入院パスの導入は。

答 クリニカルパスは、病気の治療や検査、看護ケアなどの予定を時系列にまとめた診療計画表です。患者側は安心して入院生活を送れ、病院側は病床管理をしやすくなる等のメリットがあり、医療センターにおいては、15の診療科で合計96個のパスを運用し、診療を行っています。経過観察入院パスの導入は、解決すべき課題があるため、その有用性を調査研究していきます。

問 地域医療を守り育てる今後の市の取組は。

答 市医療連携協議会議での議論を踏まえ、医療人を育て、医療人を増やす、医療機関の機能分化と連携の方針のもと、いわき市医学生応援修学資金の創設や、診療所開設支援補助金の承継に係る補助対象拡大など、医療提供体制の確保に力を注いでいきます。

■その他の質問
○本市の公営墓地の在り方は



創世会
佐藤和良

問 視覚障がい者用誘導ブロックの修繕をブロックの維持管理は。

答 破損等の異常が確認された際は、速やかに修繕するとともに、破損箇所の周辺においても確認・点検を行い、利用者の安全性向上を図ります。

災害に強いまちづくりへ、河川氾濫の防止を

問 令和7年度以降の河川改修は。

答 新川・宮川は、県が測量調査や概略設計を進め、河川改修に着手する予定です。さらに、新川は、平北白土地内の高橋より上流区間で、継続的に堆積土砂等の除去を進め、矢田川は、今年度に引き続き、鹿島町米田地内で河川堤防への防草シートの設置工事を予定しています。また、平草川の田人町黒田字平草地内等で護岸工事を予定しています。

泉地区における避難訓練の説明と違う避難所指定は問題

問 対応を改善すべきでは。

答 開設避難所の見直しですが、令和7年3月までに改めて避難所を指定します。

問 温泉事業について事業者や市民の声をよく聞いて入湯税増額は控え、温泉

使用料の値上げは見送るべき。
答 令和6年度からの3年間を経営体力回復・重点期間とし、入湯税超過課税の導入は、並行して、検討を進めます。

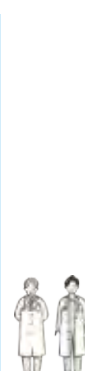


政風会
草野大輔

地域医療提供体制の強化を

問 診療所開設支援の強化のため、診療所開設支援事業の拡充や新規取組が必要では。

答 診療所開設支援補助金は、診療所を承継する場合、市内の医師や2親等以内の医師も補助対象に加える等の見直しを行います。なお、国では、都道府県が医師の偏在対策を重点的に進める区域を指定し、その区域内の診療所の承継や新規開業を促す事業を始めるとしています。今後、診療所の開設、承継の促進を検討していきます。



問 若い世代の活躍推進を若い女性の働きがいを高

めるための市の取組は。

答 自らの能力を発揮し、活躍できる職場や職種、社会課題の解決に寄与できる業種を新たに生み出す取組を進めます。具体的には、語学やデジタルスキル等を生かせる企画総務、海外関連業務などの本社機能の誘致や女性のスタートアップ、創業支援の推進に努めます。

小川・川前地区における生活維持・地域振興の取組は

問 いわきの里鬼ヶ城の再開にあたり、地域との関わりは。

答 新たな指定管理者候補者は、地域と連携を図りながら運営していくとしており、指定管理者として指定された後、川前地区の皆様との事前の打ち合わせを予定しています。市としても、地区との連携や協力は、施設運営において重要と考えており、川前地区の皆様との御意見を伺いながら体制構築に向け支援します。

問 磐越東線の利用促進は。

答 鉄道活性化対策協議会では、増便やサイクルトレインの運行等、継続的にJR東日本へ要望しており、また、沿線自治体等で組織する磐越東

線活性化対策協議会では、特別列車の運行等を実施してきました。加えて、本市独自の取組として、いわきFCのホーム試合開催に合わせた利用促進イベントや鉄道交通の活性化についての講演会等を開催してきました。今後も、利用促進とマイレール意識の向上の取組を継続していきます。



▲いわき市鉄道交通を応援する会鉄活セミナー

歴史・文化資源の活用等は



問 いわき市に関する史料を収集し、一元的に管理・発信する機能の設置に、どのように取り組んでいくのか。

答 歴史的価値を有する史料は、収集・管理の範囲、保存・利用の在り方など、整理すべき様々な課題があると認識しています。そのため、文化財保護法に基づく、文化財の保存及び活用に関する総合的な計画の策定に、今後、取り組む中で、検討課題とします。

問 本市の貴重な財産である文化財をはじめ、公文書などの行政文書を後世に引き継ぐことは、オールいわきの観点からも重要です。郡山市の事例なども参考にしながら、一層の取組を本市でも進めることについて市長の考えは。

答 郡山市でもそういった進展があると伺っており、資料の保存や公開に関して、一元的に市民に提供する場所の設立は、長年の重要課題と捉えているため、引き続き検討していきます。

問 本市の貴重な財産である文化財をはじめ、公文書などの行政文書を後世に引き継ぐことは、オールいわきの観点からも重要です。郡山市の事例なども参考にしながら、一層の取組を本市でも進めることについて市長の考えは。

答 郡山市でもそういった進展があると伺っており、資料の保存や公開に関して、一元的に市民に提供する場所の設立は、長年の重要課題と捉えているため、引き続き検討していきます。

問 保育士を増やすために市はどのような施策をしてきたか。

答 保育士人材を確保する主な取組として、市内中学生や高校生、学生などに対して、保育園等の活動の紹介等を行う合同説明会や保育所等見学バスツアー、保育等現場体験等の取組を実施しています。

保育士不足の解決を



問 ペット同伴避難の現状は。市の避難所運営マニュアルにおいては、動物が苦手な

問 0、1、2歳児の保育料無償化の実現は。

答 費用負担が約6億3200万円になると推定され、保育士等の確保等が課題となるため、保育料等を無償化することは困難であると考えます。

子育て支援として保育料無償化を

学校トイレへの生理用品設置を

問 生理用品の学校トイレへの設置状況の変化は。

答 令和6年10月末から2校増えて、令和7年2月現在、小学校9校、中学校16校です。

ペット同伴避難の取組を



問 ペット同伴避難の現状は。市の避難所運営マニュアルにおいては、動物が苦手な

方やアレルギーを持つている方などに配慮する必要があることから、原則、室外で飼育管理することとしており、現時点で飼い主とペットが同室で生活できる避難所は設置していません。

問 現状への評価は。

答 市総合防災訓練でのペット同行避難訓練において、ペット避難に関するアンケートを行い、参加した飼い主からは、犬が怯えて吠えないように、飼い主がペットのそばで過ごせる避難場所を求める声が寄せられました。また、普段室内飼育している犬を、室外飼育している犬と同じスペースで飼育するのは不安であるとの声も寄せられました。これらの結果から、飼い主とペットが同じ室内で生活できる避難場所の設置は、飼い主が躊躇なく避難所を利用することにつながる取組であるものと認識しています。

問 ペット同伴避難が可能な避難所を設置する取組は。

答 飼い主とペットが同じ室内で生活できる避難所の設置に向けては、犬や猫等の室内飼育が可能な施設の選定、施設管理者の理解と協力による

飼育場所の確保、感染症防止対策など、様々な課題があります。市としましては、市民の皆様の声も踏まえ、既存避難所の活用や、飼い主とペットが同室で生活できる専用の避難所の新たな設置等について、引き続き、関係部署及び関係機関との検討を進めていきます。



▲ペット同行避難訓練の様子

ありますが、今後はこうした先進事例を参考に、次世代を担う担い手の確保・育成などを通じ、農地の維持、保全に努めてまいります。



創世会
坂本 稔

**旧議員年金の税金による
持続は見直すべき**

問 本市の議員共済会負担金の平成27年度・令和2年度・令和7年度（予定）の金額は。

答 負担金の額は、平成27年度決算が、約1億7583万円、令和2年度決算が約9529万円、令和7年度は当初予算案として約7453万円を計上しています。

問 議員年金の廃止法が施行された平成23年度から現在までの本市の議員共済会負担金の累計額はいくらか。

答 平成23年度から令和6年度まで拠出した負担金の累計額は、約17億435万円です。

**中山間地域で実施した
おでかけ医療センターの取組は**

問 中山間地域医療について医療センターとしてはどのような役割を担うのか。

答 令和6年に実施したおでかけ医療センターで、改めて中山間地域の状況を認識することができました。今後も、中山間地域の医療提供体制の在り方を市医師会や隣接する自治体の関係機関等とも情報を共有し、協議をしていく必要があると考えます。

その他の質問

○田人診療所の今後は
○これまでの市の入札制度は
○新たに導入される変動型最低制限価格制度のランダム係数の設定を下限値にしたのは
○どういう理由か



市民の会
遠藤 崇広

災害に強いまちづくりを

問 非常用食糧の見直しと避難所の環境充実へ向けた取組は。

答 非常用食糧の確保すべき目標数量を21万1800食から35万5500食に拡充し、令和6年能登半島地震対応を教訓とした国の防災基本計画の見直しを踏まえ、プライバシー確保等を図るパーティションを1950張から467

0張に増やすほか、新たに段ボールベッド500台を整備します。また、炊き出し用かまどを内陸部の避難所にも整備し、温かい食事が提供できる体制の拡充を図ります。

避難所となる学校体育館の環境インフラの改善は。

答 空調機能がなく、洋式トイレが設置されていない体育館が多い状況です。そのため、災害時に小中学校の校舎を最大限に活用することとし、エアコンのある特別教室や校舎内の洋式トイレを活用します。また、近年、夏の気温上昇が顕著で、体育館での避難者の体調管理が難しいことから、避難所環境を整える必要がありますが、児童・生徒の通常時の教育活動に影響が及ぶことやインフラ整備には多額の費用を要することから、教育委員会と連携し、先行事例の情報収集を進めています。

**魅力あるまちづくりへ向けた
今後の取組は**

問 中心市街地活性化へ向けた新年度の取組は。

答 駅周辺の歩行者の通行量等を調査するAIビーコンを設置し、調査したデータを商

店街等の顧客サービス向上や魅力的なテナント誘致等に活用してもらうことを想定しています。また、情報発信の活動を軸とする地域おこし協力隊を配置し、市街地活性化の推進体制を強化する考えです。



誠心誠意の会
大友 康夫

**産業の振興に向けた
取組は**

問 藤原ふ頭の状況は。

答 近年では、市内に大規模なバイオマス発電所が整備されたことを背景に、燃料用の木材チップの取扱量が増えています。さらには、県内風力発電施設の導入拡大に伴い、風力関連機材の取扱量も増え、混雑した状況と伺っています。

問 現在の小名浜港の滞船状況は。

答 令和6年度は、石炭の取扱量が回復したことや、度重なる天候不良により、再び滞船が増加傾向とのことでした。

問 小名浜港の今後の展望は。

答 現在、物流の2024年問題の緩和や脱炭素推進に向け、陸上輸送から海上輸送への転換の動きがみられます。

本年夏ごろには小名浜道路の開通も見込まれ、県中や県南北関東など、幅広い地域と小名浜港のアクセス環境が大幅に向上することから、市としては、この環境を好機と捉え、物流機能のさらなる強化を図り、県に働きかけながら、官民一体で一層の貨物集荷に取り組みで行きます。



▲小名浜港全景（福島県提供）

観光交流人口の拡大に向けた取組は

問 道の駅いわき・ら・ら・ら・ら・ら・ら・らの運営母体はどこか。

答 株式会社いわき観光物産センターが道の駅の運営母体となります。

問 道の駅オープンに向けた施設の改修内容は。

答 令和7年9月のオープン

に向け、24時間利用可能な駐車場・トイレの整備をはじめ授乳設備などの子育て支援機能の充実、道路情報等の発信機能の新設など、必要な施設整備を行う予定です。

問 今後、市としての様子の道をPRするののか。

答 道の駅登録は、本市の観光交流人口の拡大や常磐もののPR強化に向け、大きな追い風になるものと期待しております。加えて、アクアマリンパーク全体の魅力がさらに高まるものと認識しています。市としては、道の駅登録を契機として、さらなる情報発信に努めるなど、小名浜地区の賑わい創出はもとより、本市の観光交流人口の拡大に取り組んでいきます。



遠野和紙継承に向けた取組は

問 市の魅力を発信する上で遠野和紙が持つ可能性は。

答 遠野和紙は、商品としての魅力のほか、一連の工程作業体験を通して、地域や人、文化と触れ合える魅力がありま



▲外国人留学生が参加した遠野和紙漉き作業体験

す。特に、紙漉き作業体験は、体験型旅行としての集客効果、地域の子供たちへの技術継承を通じた地域への愛着や誇りの醸成、ブランド力向上による遠野和紙の販売促進効果などが期待できます。

問 遠野和紙継承にどのような取り組みを考えか。

答 今後も、担い手の確保と育成、商品開発、販路開拓に向けた支援など、遠野和紙の継承に取り組んでいきます。

公約である若者から選ばれるいわきづくりは

問 市長は、中学校給食の無償化を含む令和7年度当初予算案でも、公約は道半ばと捉えている。令和8年度から小学校給食を無償化する自民、

公明、維新の合意を踏まえ、令和7年度途中からでも小学校給食を無償化して公約を完遂しては。

答 やりたい気持ちは同一ですが、財源が捻出できていないため、次年度からは厳しい状況です。

その他の質問

○策定が進む市再生可能エネルギー規制条例案で市民の安全・安心は確保されるのか



医療に係る取組は

問 救急医療体制の強化に係る今後の取組は。

答 救急告示病院を支援するとともに、救急車の適正利用やかかりつけ医を持つことなどの周知・啓発を行いながら救急搬送患者の受入体制の強化に取り組んでいきます。

交通に係る取組は

問 地域公共交通の強化に係る今後の取組は。

答 バス・タクシー運転手の確保に向けた支援を継続する

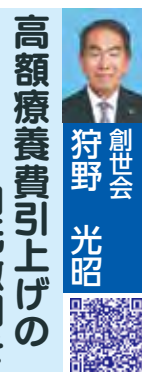
ことに加え、市内各地域における定額タクシーなどの取組を進展させていきます。



入札・契約制度の見直しは

問 地元へ密着した事業者の受注機会の確保を目的とした見直しは。

答 水道施設の管路工事に限定し、地域制限付き一般競争入札と落札の一抜け方式を試行的に導入します。



高額療養費引上げの白紙撤回を

問 令和5年度の本市国保の高額療養費支給世帯数は。

答 70歳未満が1万769世帯で、70歳以上が1万5061世帯です。

問 高額療養費の限度額引上げは、全面凍結し、白紙撤回

を国に要請すべきでは。
答 国の動向を注視していき
ます。

教育費に係る保護者負担を軽減し 子育てしやすいまちづくりを

問 0歳～2歳児の保育料無償化を。

答 多額の財政需要が生じる等により、実施は困難です。

問 65億円の財政調整基金を繰入し、小学校の学校給食費無償化を実施すべきでは。

答 小中学校共に無償化が図られるよう尽力します。

問 算数セット等の学用品費等の保護者負担の軽減を。

答 現在学校に備えてあるものを使用するほか、兄弟姉妹等が使用したのもも再利用できるときの配慮しています。



小規模修繕契約希望者登録制度 で小規模事業者の育成を

問 小規模修繕事業者への発注実績を増やす取組は。

答 やむを得ない場合を除き、小規模修繕事業者に発注する

よう各部署に依頼しています。
問 公契約条例の制定を。
答 引き続き国の動向等を注視してまいります。

「小規模修繕契約希望者登録制度」

内容が軽易で履行の確保が容易な修繕(設計金額50万円以下、物品の修繕を除く)を市が発注する際、「いわき市小規模修繕契約希望者登録名簿」に登録いただいた方を選定の対象とするもの。



小名浜道路建設に伴う影響は

問 地形の改変により、河川へ流入する雨の量はどのくらい増えるのか。
答 山林を掘削したことで、保水力に変化が生じ、河川へ流入する雨量は約2%の増加が見込まれるとのこと。

問 いわき山田インターチェンジ付近における山田川の流下能力はどのくらいか。
答 いわき山田インターチェンジ付近については、未改修の区間のため、流下能力を示すことは困難ですが、今後、

整備済み区間との整合を図り、治水安全度の向上に向けて整備計画流量を検討します。



▲いわき山田インターチェンジ付近

山田川の堆積物除去は

問 山田川の堆積物除去の計画はどのようになっているか。
答 県道いわき上三坂小野線の関場橋から窪根川合流点付近までの延長約2kmの区間の堆積物除去を行うこととしており、令和7年度から8年度までに実施する予定です。



訪問介護体制の強化を

問 過去3年間の訪問介護事

業所の休業等の状況は。

答 令和3年度が休止0件・廃止3件、令和4年度が休止3件・廃止2件、令和5年度が休止5件・廃止9件となっております。また、主な理由は、人材不足や経営難、事業所の統合等となっております。

問 訪問介護基本報酬引下げを国に働きかけるべきでは。

答 全国市長会や中核市市長会を通して、令和6年度の介護報酬改定において、訪問介護の基本報酬が減額されたが、中小規模の訪問介護事業所の経営状況を圧迫していることから、事業所が安定してサービスを提供できるよう、報酬改定の影響を十分に検証し、抜本的な見直しを行うなど、必要な措置を講じることが国に要望しています。

◆その他の質問

○国道6号小名浜地区林城・飯田交差点間の渋滞緩和は
○市道沿いの樹木並びに除草等対策の考え方は

傍聴・議会中継の御案内

◆傍聴の手続

本会議当日に、議会棟の傍聴者入口で、会議開始30分前から受付を行います。受付は、傍聴券に住所・氏名を記入していただくだけで、事前の予約等の必要はありませんので、お気軽にお越しください。

◆傍聴席等

傍聴席が58席、この他に車いす用のスペースが3席あり、先着順となります。



▲傍聴者入口 (本庁舎西側)

◆議会中継

また、本会議の様子は、議場での傍聴のほかに、インターネットでのライブ中継・録画中継でも御覧になれます。

議会中継はこちらから



令和7年1月臨時会を開催しました

国の補正予算の成立に伴い、速やかに対応すべき事業に要する経費について、補正措置を講じるため、令和7年1月27日(月)に臨時会を開催しました。

<令和6年度いわき市一般会計補正予算(第7号)>

補正予算の総額 37億3,689万5,000円



— 主な事業は次のとおりです — 詳しくはこちら▶

1 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の負担感が大きい低所得世帯の負担軽減を図るため、給付金を支給する。

14億4,330万7千円

支給対象者	令和6年度住民税非課税世帯 ※住民税課税者の扶養親族のみからなる世帯を除く
給付額	基本給付金：1世帯あたり3.6万円 ※国の給付金に6千円を上乗せ こども加算：こども1人あたり2万円
世帯数	36,500世帯(こども加算：4,100人)

2 小・中学校環境改善事業

小・中学校長寿命化や空調設備設置、トイレ洋式化を実施する。

20億9,261万2千円

◆小・中学校長寿命化事業 14億3,703万4千円

児童・生徒の教育環境の質を保ち、学校生活の安心・安全を確保するため、老朽化が著しい校舎及び屋内運動場の長寿命化改修工事を実施する。

小名浜西小校舎(西棟)外壁改修工事等 小学校5校
内郷一中校舎長寿命化改修工事等 中学校4校

◆小・中学校空調設備設置事業 5億7,380万4千円

熱中症等を防止するほか、児童・生徒の教育環境を改善するため、小・中学校特別教室に空調設備を設置する。

平一小等 小学校33校
平三中等 中学校8校
令和7年度までに全小・中学校の特別教室(3教室程度)に設置完了予定

◆小・中学校トイレ洋式化事業 8,177万4千円

児童・生徒の健康面、衛生面、生活面等の教育環境を充実するため、トイレの洋式化を実施する。

平一小、平二中、泉中、
勿来一中
令和9年度までに全小・中学校の適正器具数を100%達成予定

3 災害時非常用備蓄品整備事業費

災害時の避難所等における生活環境の改善と市民の防災意識の高揚を図るため、資機材の拡充等を実施する。 **9,857万6千円**

炊き出し用資機材 (温かい食事の提供)	パーティション (プライバシー確保)
炊き出し用かまどを沿岸部だけでなく内陸部の避難所にも配備することで、避難者自身やボランティア等による食事提供が可能なる環境を整備	令和元年台風19号の最大避難者数への対応に必要となる4,670張を整備目標に、不足となる張数の一部(2,000張)を前倒しで購入

次期定例会日程(予定)のお知らせ

次期定例会は6月5日(木)から6月19日(木)までの会期で開催される予定です。

月 日	開会時刻	会議内容
6月5日(木)	午前10時	本会議(初 日)
6月6日(金)		休 会
6月7日(土)		休 会
6月8日(日)		休 会
6月9日(月)	午前10時	本会議(一般質問)
6月10日(火)	午前10時	本会議(一般質問)
6月11日(水)	午前10時	本会議(一般質問)
6月12日(木)	午前10時	本会議(一般質問)
6月13日(金)	午前10時	常任委員会
6月14日(土)		休 会
6月15日(日)		休 会
6月16日(月)	午前10時	常任委員会
6月17日(火)	午前10時	特別委員会
6月18日(水)		休 会
6月19日(木)	午前10時	本会議(最終日)

※ 日程、開会時刻は質問者数や議事の内容等により、変更になる場合があります。

表紙写真

レッドデータブック環境省絶滅危惧Ⅱ類、福島県絶滅危惧種I類に指定されているラシ科アツモリソウ属の多年草「クマガイソウ」。膨らんだ花の唇弁が発達したもので、平家物語に登場する熊谷直実の母衣に見立て、この名が付いたと言われています。いわき市田人町石住綱木には約5万株のクマガイソウの群生地があり、その数は日本最大級と言われています。例年5月上旬から咲き始め、下旬ごろまで楽しむことができます。

今年も田植えの季節となりました。苗が育ち、青々とした葉が風になびく様子は清々しいものです。しかし、最近では休耕田も目立ち、田植えがされない田んぼを見ると寂しく感じます。昨年、一昨年と全国的に米不足です。物価高騰も相まって主食の米の値段も倍になりました。異常気象の中、農作物の生産は不安定です。食料自給率の向上、米の安定供給、家族農業を中心とした持続可能な農業などを目指して議会の役割を果たしたいと考えます。

(議会編集委員会委員)

